

■TOPIC #01

文部科学省「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)」事業の中間評価でS評価(最高評価)を獲得

2016年度に採択された文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)」の中間評価において、S(所期の計画を超えた取組が行われている)という結果を得ました。

「目標達成度」「実施体制」の項目は、a(所期の計画と同等の取組

が行われている)という評価でしたが、「取組」「取組の成果」「今後の進め方」については、高く評価されました。

今後は、「自然科学系の女性教員比率(有期雇用教員含む)の目標達成」、「学部長、研究科長に選任される女性研究リーダーの育成」が課題となります。



目標達成度	取組	取組の成果	実施体制	今後の進め方
a	S	S	a	S

国立研究開発法人科学技術振興機構ホームページより ▶ https://www.jst.go.jp/shincho/hyouka/josei_shien.html

松原洋子 副総長・副学長 ご挨拶

〔研究・学術情報・国際連携・ダイバーシティ&インクルージョン担当〕

昨年度まではリサーチライフサポート室の運営委員という立場で、先端総合学術研究科の教員として関わって参りました。2019年度からは、担当副学長として参加しております。

文部科学省「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)」事業を進めるにあたり、リサーチライフサポート室が直近の目標として取り組んでいるのは、主に自然科学および科学技術を専門とする女性研究者の『採用、登用と支援』です。

吉田美喜夫前総長、田中弘美前副学長のリーダーシップのもとで、今回の中間評価では最高評価を得ました。課題として指摘された「学部長、研究科長に選任される女性研究リーダーの育成」についても、2019年度、女性学部長(理事)が2名誕生し着実に前進しています。事業終了までの今後3年間、事業のさらなる発展に努めます。

性別役割分担という近代社会の規範は、研究の創造性を阻害するものでしかありませんが、今なお影を落としています。女性研究者支援を入り口に、隠れていた障壁をひとつひとつ見つけ出し、取り除いていくことが、リサーチライフサポート室の目標であると考えます。



近年では、国際社会における学術分野において、特にSDGs*のジェンダー平等が非常に重要となっています。リサーチライフサ

ポート室の活動に参画する一員として、事業をSDGsを推進する学園全体の政策につなぐことが、担当副学長としての私の役割となります。

2030年に向けた立命館の学園ビジョンR2030の達成目標のひとつは、「ダイバーシティ&インクルージョンを実現する学園」です。ダイバーシティ&インクルージョンとは、誰もが潜在的にある能力を発揮し、挑戦できる場をつくることです。立命館大学が年齢、障がいの有無、国籍等にかかわらず、多様な性を生きる人々が活躍できる場となるよう、取り組みを進めて参ります。

今後ともご協力とご支援を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

*Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標



TOPIC #02

2019年度リサーチライフサポート室体制のご紹介

情報理工学部 篠田博之教授 ご挨拶

[リサーチライフサポート室
新室長]

2019年度に新しい体制となり、室長に就任いたしました。昨年度までは研究部長として、副室長という立場で関わって参りました。

事業が開始された2016年度以降、総長・学長のリーダーシップの下、15名の学部長理事(2018年度当時)を介して全学部が連携する実施体制を構築するとともに、スピード感のある合意形成により積極的に事業を進め、総合的に展開しました。その結果、事業の中間評価では最高評価となる「S評価」を獲得しました。

本事業の中間評価に伴い、2019年1月には本大学教職員を対象として、男女共同参画に対する認識や効果について確認することと、次年度以降の活動方針に反映させることを目的に、アンケート調査を実施しました。

中間評価では「S評価」を得ましたが、一方で急速な展開の後は、大きなゆり戻しがあると実感しております。女性限定公募・前倒し人事は、応募を躊躇する層の後押しの機会となり、自然科学系無期(テニュア)教員比率向上につながりましたが、実施後のフォローとして、学部・研究科へのヒアリングが必要と捉えております。また、教職員の皆様からいただいたアンケート結果の分析を通して、学内における当室の認知度の低さ、「仕事と家庭との両立支援」に関する制度の利便性や会議等の運

営方法の改善といった課題があると認識しております。

本事業では自然科学系の女性研究者の活躍の場を引き続き強めていくと共に、性別や年齢・国籍・専門分野に関わらず、本大学に所属する新任教員や、学童期のお子さんがいたり、介護に携わっている教職員へのサポートも必要だと考えております。

こうした背景をもとに、本大学に事業が定着されることを目指し、主体的に役割を担っていただける先生方に当室の運営委員になっていただきました。立命館大学の中には、様々なユニークな素晴らしい取り組みがあります。その取り組みを推進している各部署より運営委員にご就任いただいたことにより、立命館らしいダイバーシティ事業が成し得るという体制になりました。

2019年度は本事業の4年目を迎え、中間評価やアンケートにおいて今後の課題となった取組に重点を置き、学内関係部署との連携を強化しながら、各種施策を継続して参ります。単なる数値目標の達成を目指すものではなく、質的な面での充実も図ります。

今後ともご協力賜りますようよろしくお願い申し上げます。



2019年度 リサーチライフサポート室構成員

室長	● 篠田博之：情報理工学部教授		
副室長	● 徳田昭雄：研究部長・経営学部教授 ● 岡田 豊：研究部長・生命科学部教授	キャリア アドバイザー	● 高橋政代：総合科学技術研究機構招聘研究教員 (客員教授) ● 相馬芳枝：産総研 名誉リサーチャー ● 田中弘美：学長特別補佐(全国ダイバーシティネットワーク) 情報理工学部教授 ● 志磨慶子：元リサーチライフサポート室室長
運営委員	● 松原洋子：副総長・副学長 (研究・学術情報・国際連携・ダイバーシティ&インクルージョン担当) ● 西川幸穂：常務理事(総務担当) ● 荒木 努：理工学部副学部長・理工学部教授 ● 岡田志麻：理工学部准教授	事務局長	● 野口義文：研究部事務部長
	● 岸田康子：一貫教育部副部長 ● 北村佳久：薬学部副学部長・薬学部教授 ● 木村朝子：総合企画室副室長・情報理工学部教授 ● 竹中悠美：先端総合学術研究科教授 ● 鳥居朋子：大学評価・IR室 副室長・教育開発推進機構教授 ● 二宮周平：男女共同参画推進委員会 RU教員部会長・法学部教授	副事務局長	● 櫻井裕美：人事部次長
		事務局	● BKCリサーチオフィス(主管) ● 給与厚生課 ● 研究企画課 ● 一貫教育課 ● 衣笠リサーチオフィス ● OICリサーチオフィス

■TOPIC #03

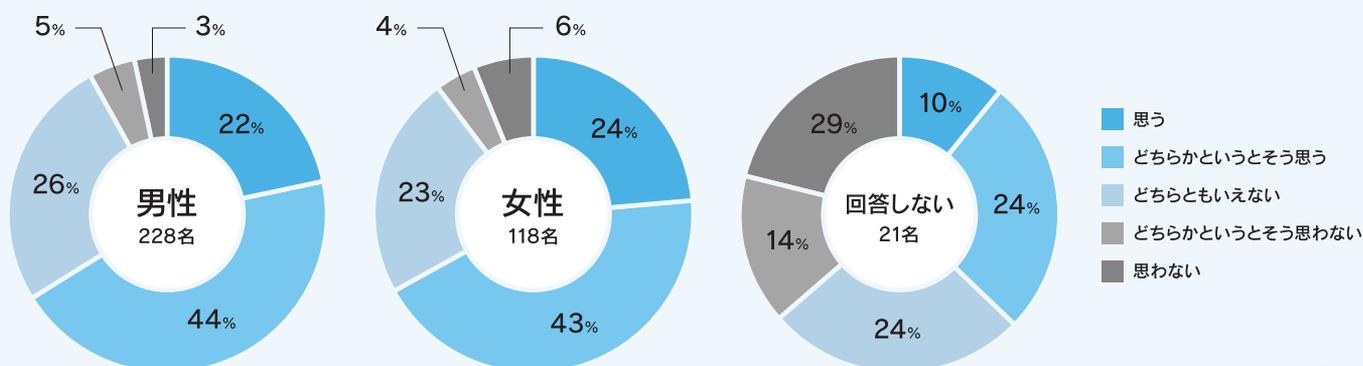
2019年1月実施 教職員対象 「男女共同参画に関するアンケート」結果のご報告

教員367名、職員216名の皆様にアンケートにご協力いただきまして、ありがとうございました。
結果につきましては、ホームページにて公表させていただいております。
ご回答いただいた内容を真摯に受け止め、よりよい研究環境づくりを目指していきます。

アンケートの
全結果は
こちらから



Q.本事業に採択されたことに伴い、本大学の男女共同参画が推進されたと思いますか。



Information /

「女性研究者の裾野拡大」の取り組みのご報告

草津市・くさつ男女共同参画市民会議い〜ぶん主催
「女子生徒の進路選択支援学習会」
—女子だって何にでもなれる—
理工系・医学系・農学系の勉強、仕事とは？

日時 7月6日(土) 13:00~16:30

会場 びわこ・くさつキャンパス コアステーション大会議室

対象 大学の進路・大学生活や将来の仕事に興味のある
女子中高生、保護者等

プログラム

- 話題提供 大学時代や仕事について
・理工学部 助教 荒木優希 先生 他
- ワークショップ 「先輩リケジョに質問」
ファシリテーター協力
・理工学部 道関隆国研究室 大学院生
・ " 久保博嗣研究室 大学院生
・ " 岡田志麻研究室 大学院生
- 研究室見学
・薬学部 北村佳久教授 研究室
・理工学部 中田俊隆教授 研究室



理系学生・高校生応援プロジェクト

日経ウーマノミクス
フォーラム シンポジウム 2019

日時 7月17日(水) 10:00~18:00

会場 ハービスホール ※入場無料

- ブース・パネル展示
本大学のブース出展
協力:古気候学研究センター 准教授 北場育子先生
- ミニセミナー
女子大学院生による理系の学び紹介
15:00~15:20 本大学 薬学部 大学院生
「薬学部学生の一日の過ごし方」
- 体験コーナー
指向性スピーカーの紹介
協力:情報理工学部 西浦敬信教授 研究室



昨年の様子

活動報告

仕事と生活(育児・介護・治療)
両立サポートをご案内します

教員を対象として、学内の各種サポートについてご案内するハンドブック(日本語・英語)を作成しました。冊子をご希望の方はリサーチライフサポート室までご連絡ください。HPからも閲覧できます。

本大学の各種サポートについて、英語でご紹介しています。周囲にいる外国籍の教員にご案内ください。

新任教員対象辞令交付式、
FDプログラム懇親会にて、当室のご案内をしました

教育・学修支援センターが実施している新任教員FDプログラム「ガイダンス・交流会」にて、研究支援についてご案内しました。

当室長に着任した情報理工学部・篠田博之教授からは、「何でもわからないことがあったら、当室へご連絡を!」と新任教員の先生方へお伝えしました。

個別の問い合わせ・相談をお受けしておりますので、下記、問い合わせ先へご連絡ください。



新任教員対象 研究情報交換会&懇親会「Welcome to 立命館」を3キャンパスにて開催しました

新任教員対象FDプログラム経験者である着任2年目の先輩教員より、着任後の不安をどのように解消していったのか、人脈をどのように形成していったのか、家庭との両立の工夫、FDプログラムに参加した感想等、本大学での「リサーチライフ」について話題提供してい

ただきました。

情報交換会では、各自の経験を共有し、解決策やリサーチオフィスへの要望を伝えていただきました。

ご要望や質問に関する回答は後日HPに掲載いたします。



衣笠キャンパス 5月30日



びわこ・くさつキャンパス 6月5日



大阪いばらきキャンパス 6月7日

「子ども乗せ自転車専用スペース」が
設置されました

「子ども乗せ自転車駐輪スペースを設置してほしい」というご要望を受けたことをきっかけに、衣笠キャンパス管理課にご対応いただきました。

清心館南駐輪場1階、修学館南駐輪場1階に設置されました。

ご存知ですか?
「ストップ オフ ポイント」表示

学内保育園「みらい保育園」のロゴと緊急時避難場所を意味する「Stop Off Point」表示です。キャンパス内を散歩している園児さんが体調不良などで緊急時に避難場所として協力する施設に掲示しています。



立命館大学 男女共同参画推進リサーチライフサポート室

お問い合わせ先
[全キャンパス共通]

びわこ・くさつキャンパス
〒525-8577 滋賀県草津市野路東1-1-1
TEL:077-561-2631(内線:515-6500)
E-mail:rsupport@st.ritsumei.ac.jp [平日] 9:00-17:30

www.ritsumei.ac.jp/research/rsupport/

